



久里浜によろこそ

皆様。

とにかく当センターを最初の職場としてお選びいただき、職員一同とても光栄に思います。また、皆様を心から歓迎いたします。

当センターはアルコール医療だけでなく様々な医療に取り組んでいることを踏まえ、平成24年4月1日より、名称を「久里浜アルコール症センター」から現在の「久里浜医療センター」に変更いたしました。各部署が誇りと向上心をもって、診療にあたっており、病院の規模は小さいですが、インパクトのある病院と自負しています。

診療の内容は当センターに就職されれば、少しずつわかってくると思うのでここで多くを語りません。しかし、院長として特に若い職員にご理解いただきたいことがあります。それは、当センターでは若い職員の教育に力を入れていることです。たとえば、院内の研修、院外の研修などできるだけ多くの機会をご提供したいと考えています。

私は以前から、医師が留学するのに、なぜ看護師が留学できないのかと考えていました。この夢がやっと成就し、平成23年7月より6カ月間、若い看護師を米国ワシントンにある国立保健研究所（NIH）に留学させることができました。この制度は今後も継続してまいります。また、今までと同様に、できそうであれば、役に立つことには何でもチャレンジしていく姿勢を貫いて参りたいと考えています。

是非、一緒に仕事をしましょう。あなた方の当センターへのご貢献と建設的な提言を期待しています。